

横河電機株式会社

平成23年3月期 第3四半期
決算説明会



2011年2月9日

取締役 専務執行役員 八木 和則



YOKOGAWA



FY10 1Q-3Q 決算サマリー

世界経済は新興国の成長を受け総じて堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期に比べ増加。さらに、固定費構造の改革などの企業体質強化に取り組み、営業利益も前年同期と比較し増加

制御事業：欧米市場は低調に推移したが、中国、インド、ロシア、韓国、東南アジア、中東などの市場では需要拡大の動きが継続し、日本市場も堅調に推移。この結果、受注高、売上高ともに前年同期に比べ増加したが、営業利益は円高の影響を大きく受け減少

計測機器事業：半導体テストビジネスの主力製品であるメモリ前工程向けテスト分野では顧客の活発な設備投資の動きは見られなかったものの、測定器ビジネスでは電力測定器や光測定器の需要が好調に推移し、受注高、売上高は前年同期に比べ増加。売上高の増加に加え、固定費、研究開発費の圧縮により、営業損失は大幅に縮小

(億円)

	FY09 3Q	FY10 3Q	FY09 1Q-3Q	FY10 1Q-3Q
受注高	726	784	2,274	2,481
売上高	685	752	2,192	2,286
営業利益	▲4	8	▲27	48
経常利益	▲11	▲1	▲52	18
四半期純利益	▲37	▲13	▲182	▲48



FY10 3Q 経営成績(対計画比)

(億円)

	FY10 計画 10/11/9	FY10 実績				達成率
		1Q	2Q	3Q	9カ月累計	
受注高	3,400	880	817	784	2,481	73.0%
売上高	3,280	662	871	752	2,286	69.7%
営業利益	110	▲6	45	8	48	43.6%
経常利益	80	▲11	29	▲1	18	22.8%
当期 / 四半期 純利	▲25	▲24	▲11	▲13	▲48	—



FY10 3Q 経営成績(対前年同期比)

(億円)

	FY09 3Q	FY10 3Q	増減率	差異
受注高	726	784	8.0%	58
売上高	685	752	9.8%	67
営業利益	▲4	8	—	12
経常利益	▲11	▲1	—	10
四半期純利益	▲37	▲13	—	24

- ◆受注高、売上高とも、すべての事業で前年同期に比べ増加
- ◆売上増に伴う粗利増により、営業損益が改善



FY10 1Q-3Q 経営成績(対前年同期比)

(億円)

	FY09 1Q-3Q	FY10 1Q-3Q	増減率	差異
受注高	2,274	2,481	9.1%	207
売上高	2,192	2,286	4.3%	94
営業利益	▲27	48	—	75
経常利益	▲52	18	—	70
四半期純利益	▲182	▲48	—	134
為替レート	1\$= 1€= 93.23円 133.01円	86.06円 112.01円	—	▲7.17円 ▲21.00円

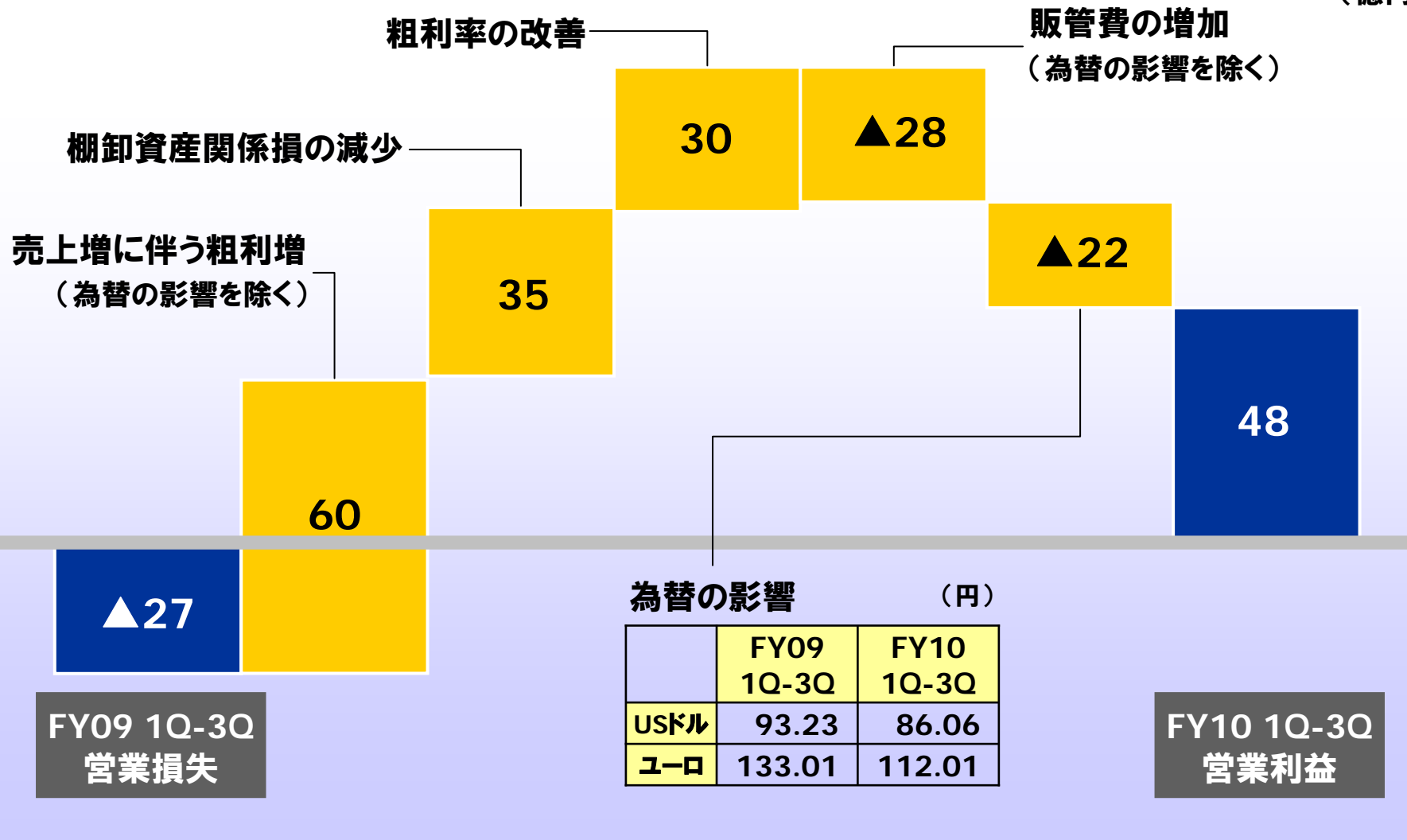
◆受注高は、すべての事業で前年同期に比べ増加（為替影響額：▲100億円）

◆売上高は、制御事業、計測機器事業で前年同期に比べ増加（為替影響額：▲93億円）

◆固定費構造の改革などの企業体質強化の取り組みにより、営業損益が改善。また、減損損失57億円などを計上した前年同期に比べ四半期純損失が減少

FY10 1Q-3Q 損益分析

(億円)





FY10 1Q-3Q 営業外・特別損益比較 (対前年同期比)

(億円)

	FY09 1Q-3Q	FY10 1Q-3Q
営業利益	▲27	48
営業外収益	15	22
営業外費用	40	52
経常利益	▲52	18
特別利益	6	4
特別損失	108	35
税引前利益	▲154	▲13
法人税等	28	35
四半期純利益	▲182	▲48

支払利息:22億円
為替差損:18億円

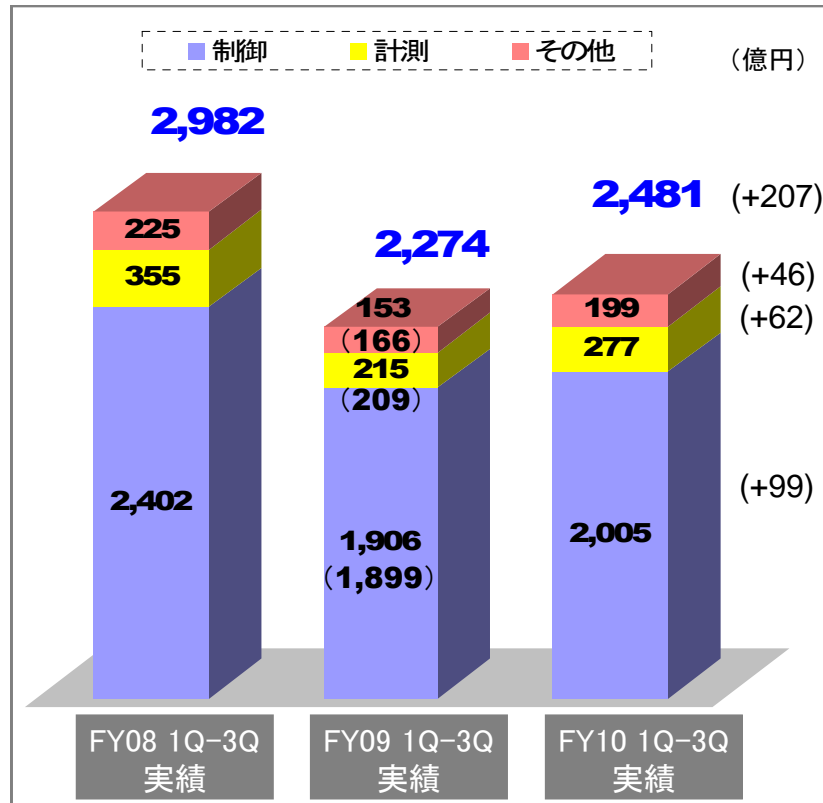
事業構造改善費用:
26億円

- ◆営業外費用:支払利息の増加(FY09 1Q-3Q 15億円 ⇒ FY10 1Q-3Q 22億円)
為替差損の増加(FY09 1Q-3Q 5億円 ⇒ FY10 1Q-3Q 18億円)
- ◆特別損失:減損損失の減少(FY09 1Q-3Q 57億円 ⇒ FY10 1Q-3Q 1億円)
投資有価証券評価損の減少(FY09 1Q-3Q 19億円 ⇒ FY10 1Q-3Q 0億円)
*FY10 1Hに計上した投資有価証券評価損26億円は、株価が回復したことから3Qに同額の戻入益を計上
拡大セカンドライフ支援制度の募集に伴う事業構造改善費用の増加(FY09 1Q-3Q 8億円 ⇒ FY10 1Q-3Q 26億円)

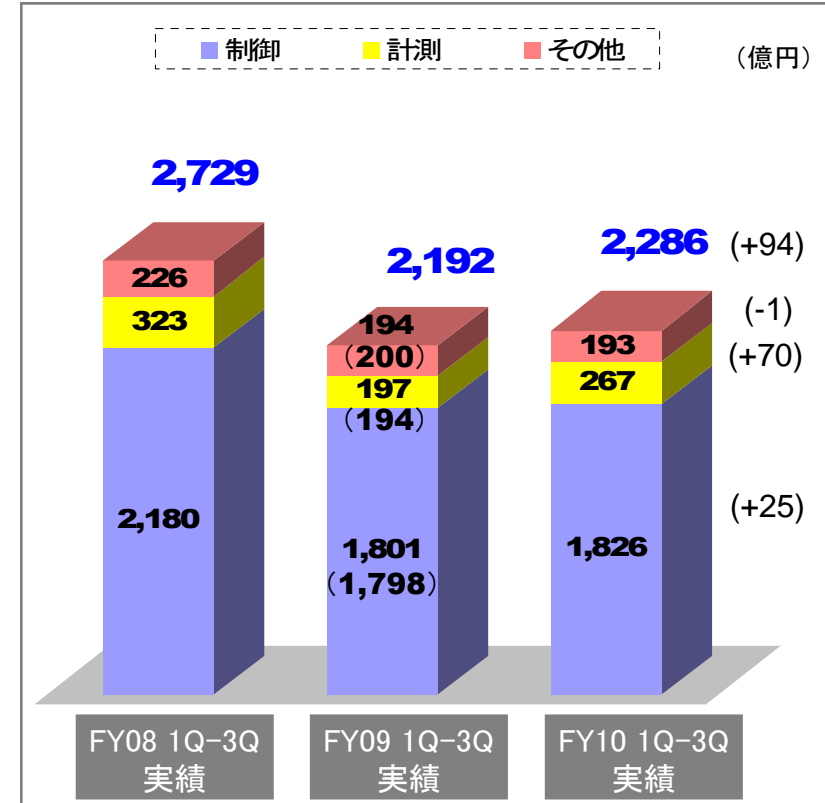


セグメント別 FY10 1Q-3Q 受注・売上実績 (対前年同期比)

受 注



売 上



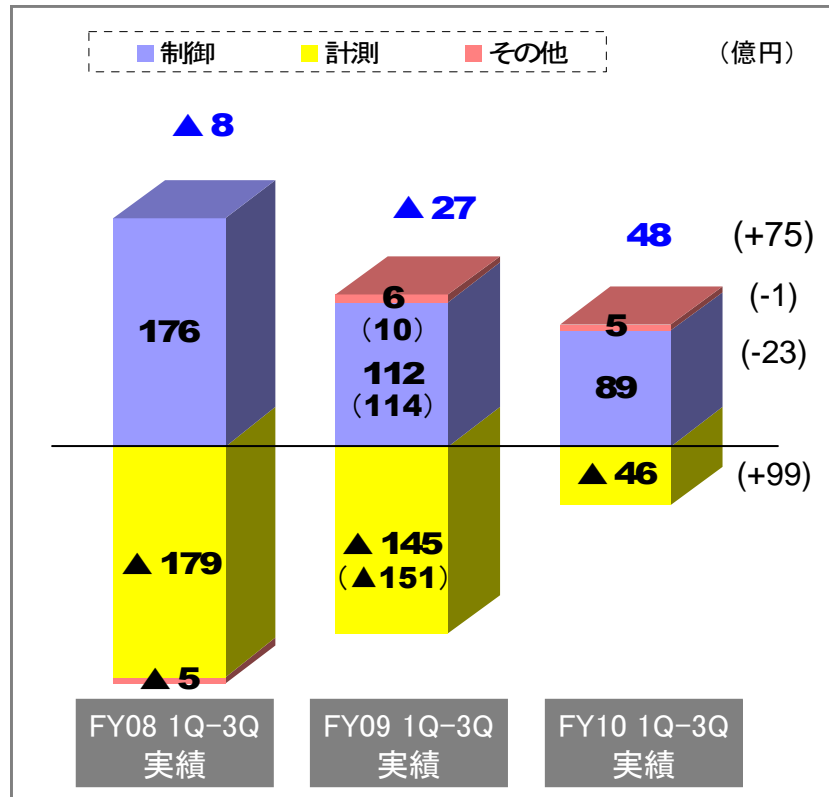
※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY08及びFY09()内の数値は、集計方法変更前の数値です。

- ◆制御事業:円高により減収の影響を受けたものの、新興国を中心に電力・エネルギープラント等の建設プロジェクトなどで需要拡大の動きが継続し、受注高・売上高とも前年同期に比べ増加(為替影響額:受注高▲92億円 売上高▲86億円)
- ◆計測機器事業:主に、測定器ビジネスが好調に推移したことから(前年同期比:受注高 42億円増 売上高 38億円増)、受注高、売上高が前年同期に比べ増加



セグメント別 FY10 1Q-3Q 営業利益 (対前年同期比)

営業利益



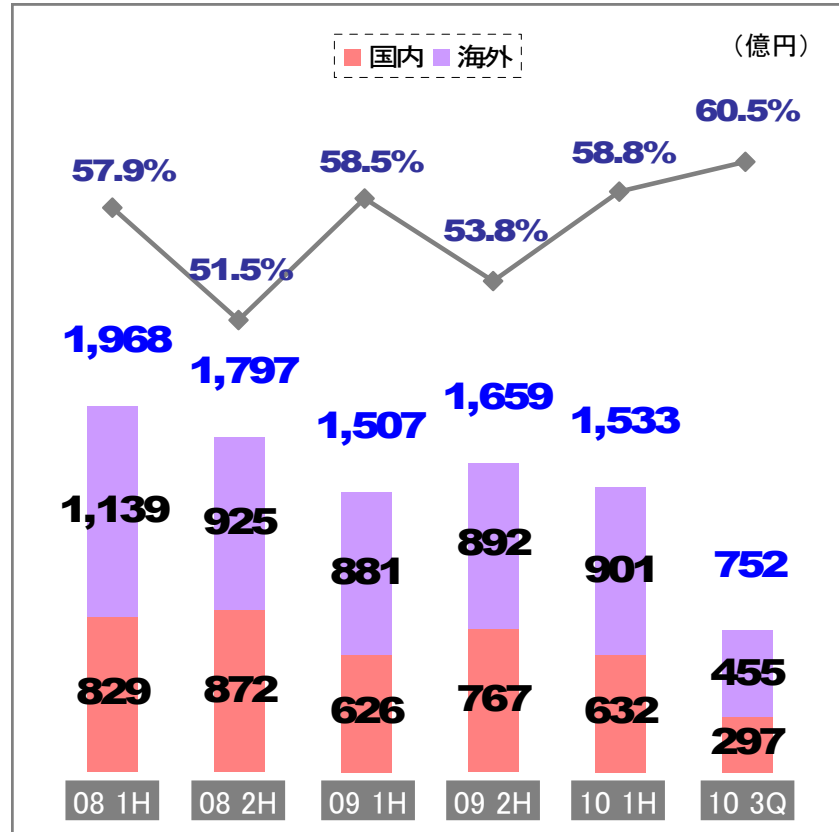
	FY09 1Q-3Q 実績	FY10 1Q-3Q 実績	差異
制御	112	89	▲23
計測	▲145	▲46	99
その他	6	5	▲1
合計	▲27	48	75

※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY08及びFY09()内の数値は、集計方法変更前の数値です。

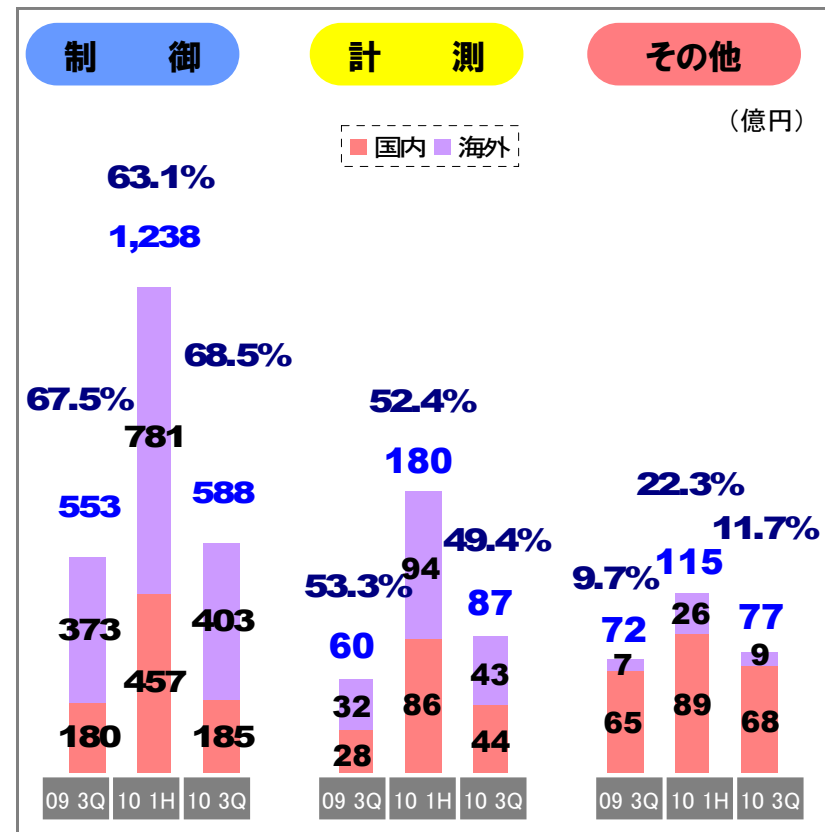
- ◆制御事業：研究開発費及び人件費の増加に加え、円高の影響により営業利益が減少
- ◆計測機器事業：売上高の増加に加え、固定費・研究開発費の圧縮により、前年同期と比べ営業損失が大幅に縮小

セグメント別 海外売上高

全 体



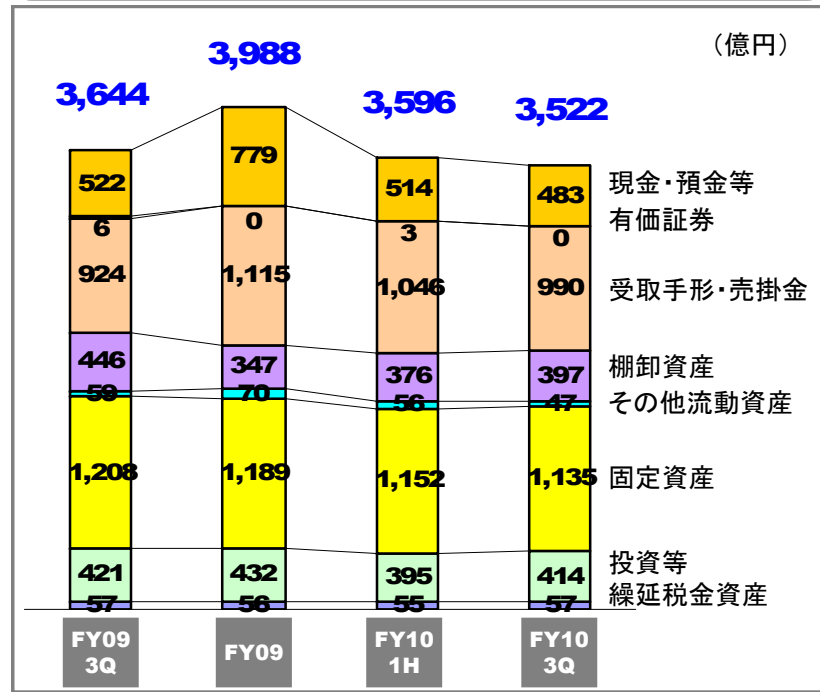
セグメント別



- ◆制御事業：現地通貨ベースでは海外での売上が大きく伸長したものの、円高の影響を受けたことから、円貨ベースの海外売上高比率は前年同期と比べ微増
- ◆計測機器事業：測定器ビジネスの国内売上高の増加により、前年同期と比べ海外売上高比率が低下

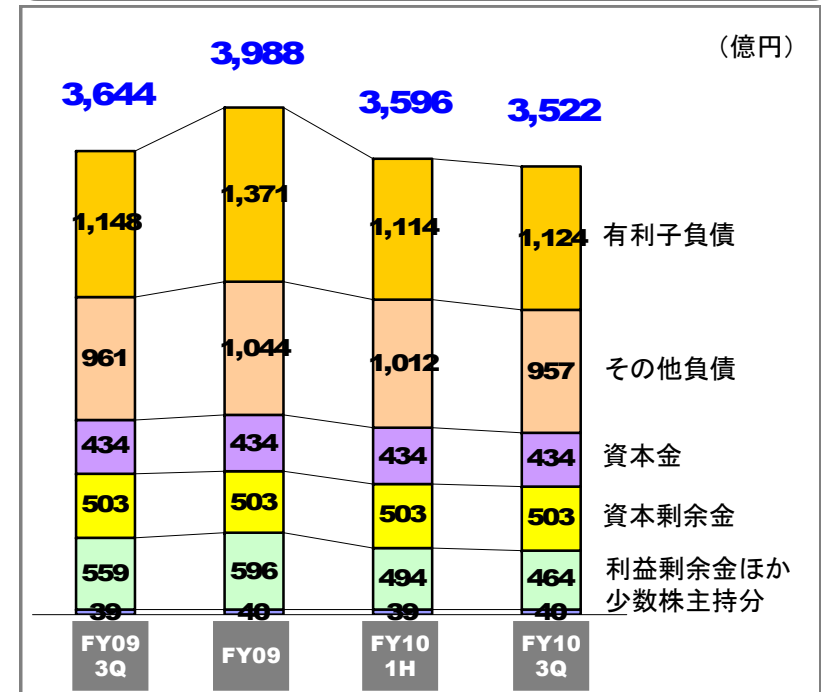
貸借対照表 推移

資産推移



	FY09 3Q	FY09	FY10 1H	FY10 3Q
総資産回転率	-	0.79	0.87	-
自己資本比率	41.4%	38.5%	39.8%	39.8%

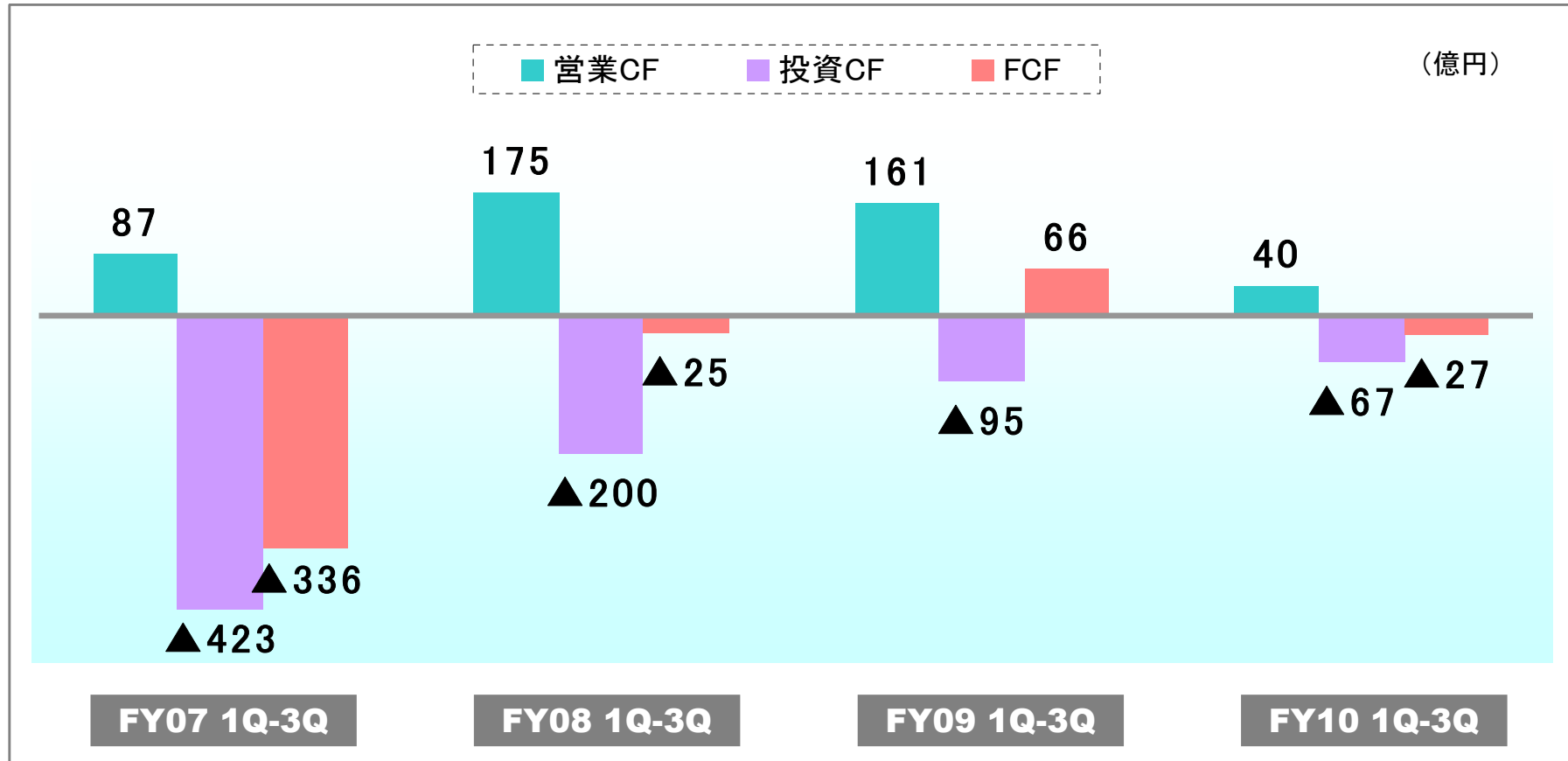
負債・資本推移



	FY09 3Q	FY09	FY10 1H	FY10 3Q
D/Eレシオ	76.7%	89.4%	77.8%	80.2%
有利子負債比率	31.5%	34.4%	31.0%	31.9%

- ◆売上の回収が進んだことから、受取手形及び売掛金が1H末と比べ減少
- ◆当期売上予定の製品、仕掛品の増加により、棚卸資産が1H末と比べ増加

キャッシュ・フロー FY07-10 1Q-3Q



- ◆増収により必要運転資金が増加したことから、営業キャッシュ・フローの収入が前年同期と比べ121億円減少
- ◆設備投資の抑制により、投資キャッシュ・フローの支出が前年同期と比べ28億円減少



FY10 経営計画

(億円)

	FY09 実績 (A)	FY10 通期計画				
		5/14(B)	11/9(C)	前年比 (C-A)	当初計画比 (C-B)	
受注高	3,152	3,400	3,400	248	0	
売上高	3,166	3,350	3,280	114	▲70	
営業利益	26	80	110	84	30	
経常利益	2	50	80	78	30	
当期純利益	▲148	0	▲25	123	▲25	
為替レート	1\$= 1€=	92.61円 130.68円	90円 130円	85円 110円	▲7.61円 ▲20.68円	▲5円 ▲20円

◆通期計画については、11月9日発表の計画を変更せず



FY10/FY09 四半期別経営成績・計画

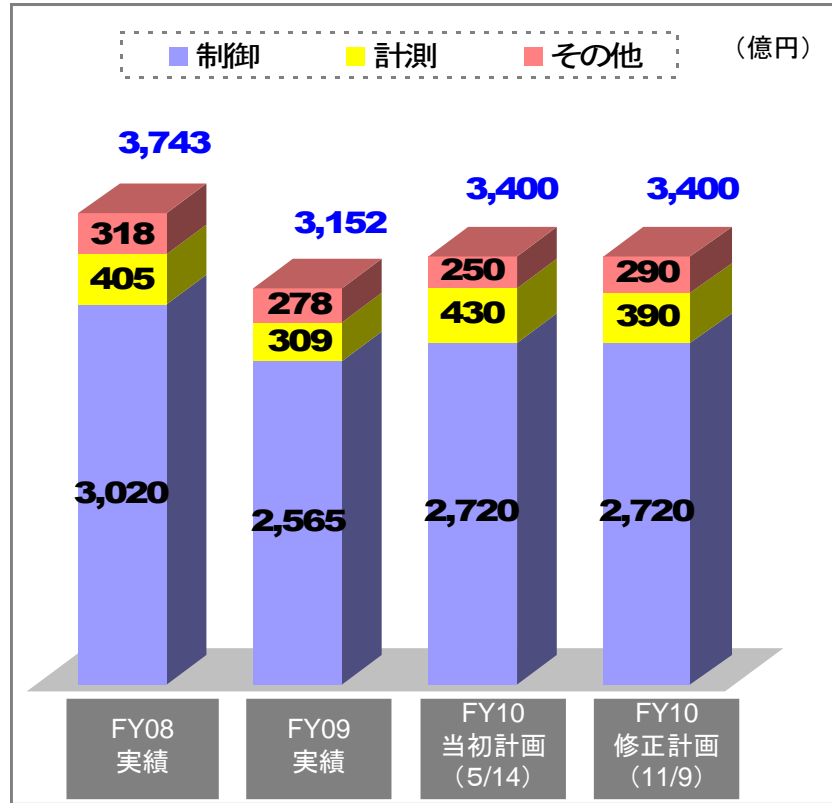
(億円)

	FY09					FY10				
	1Q	2Q	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	3Q	4Q (計画)	Total
受注高	798	749	726	878	3,152	880	817	784	919	3,400
売上高	645	862	685	974	3,166	662	871	752	994	3,280
営業利益	▲56	32	▲4	53	26	▲6	45	8	62	110

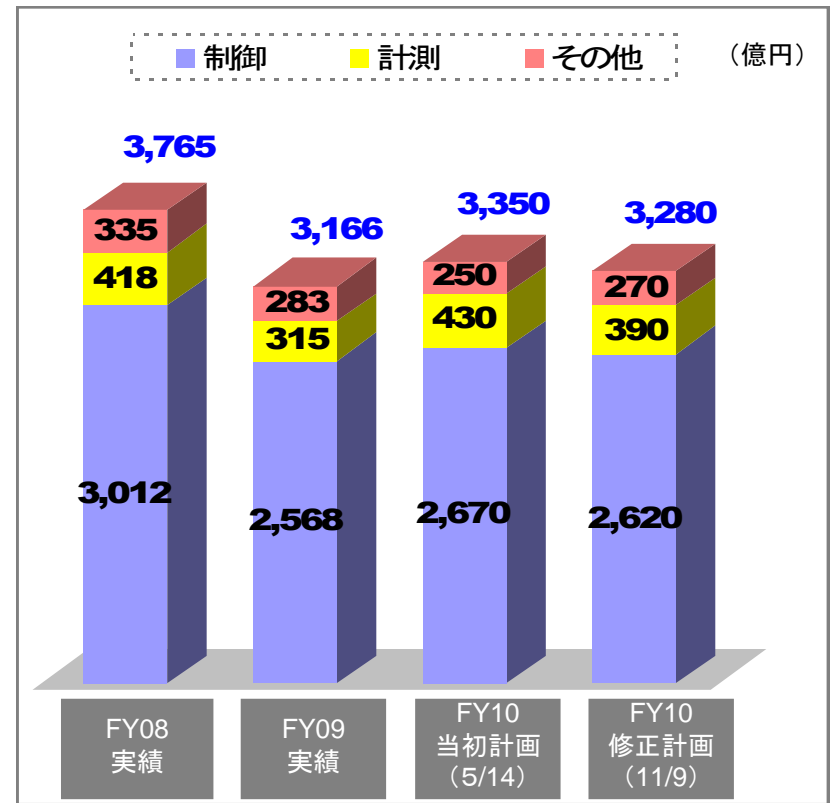
◆売上高は、制御事業の国内売上を中心に2Q、4Q末に集中

セグメント別 FY10 受注・売上 計画

受 注



売 上

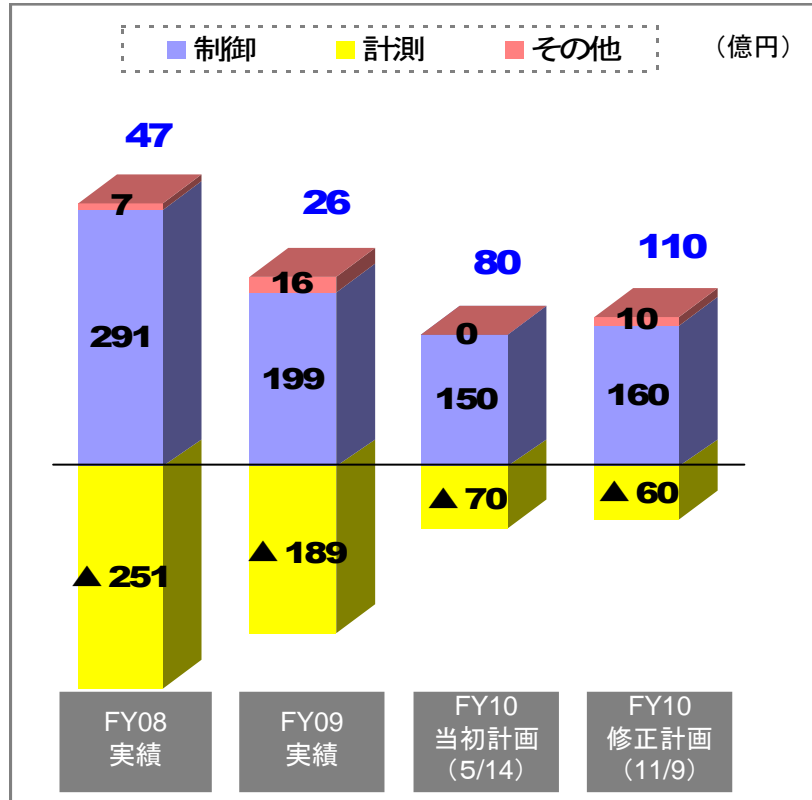


※FY08、FY09の実績は、セグメント集計方法変更前の数値です。

- ◆制御・計測機器・その他セグメントとも、11月9日に発表した受注・売上計画を変更せず
- ◆計測機器事業：半導体テストビジネスの受注高・売上高計画を下方修正したが(受注高:78億円→47億円、売上高:86億円→55億円)、測定器ビジネスの受注高・売上高計画を上方修正したため(受注高:242億円→273億円、売上高:234億円→265億円)、事業全体では11月9日発表の計画を変更せず

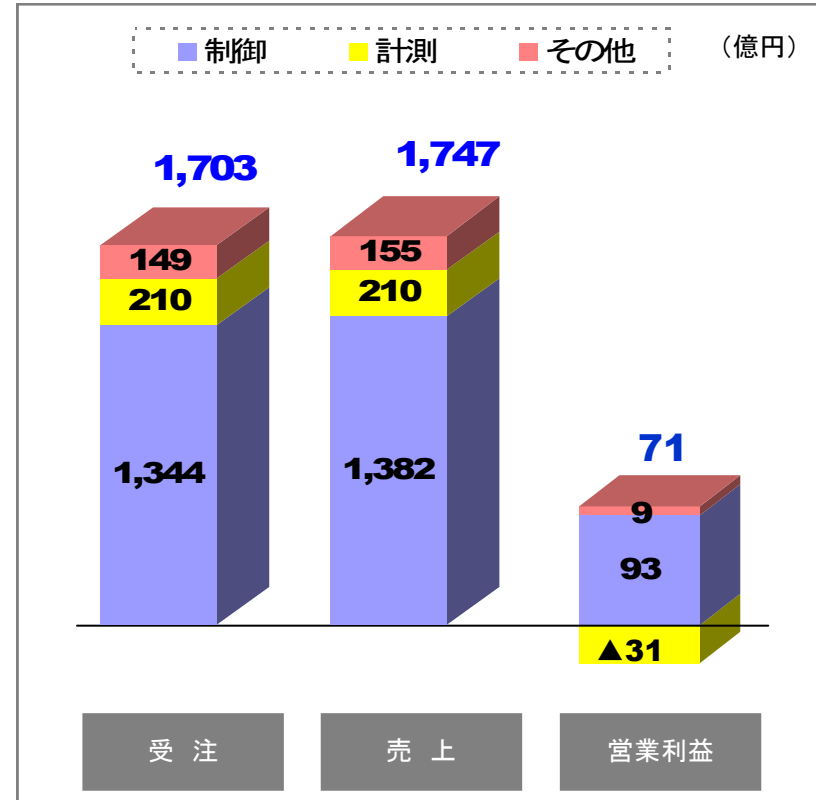
セグメント別 FY10 営業利益 計画

営業利益



※FY08、FY09の実績は、セグメント集計方法変更前の数値です。

FY10 2H



◆制御・計測機器・その他セグメントとも、11月9日に発表した営業利益計画を変更せず

◆計測機器事業：半導体テストビジネスの営業利益計画を下方修正したが、測定器ビジネスの営業利益計画を上方修正したことから、計測機器事業全体では計画を変更せず



FY10 営業外損益・特別損益 計画

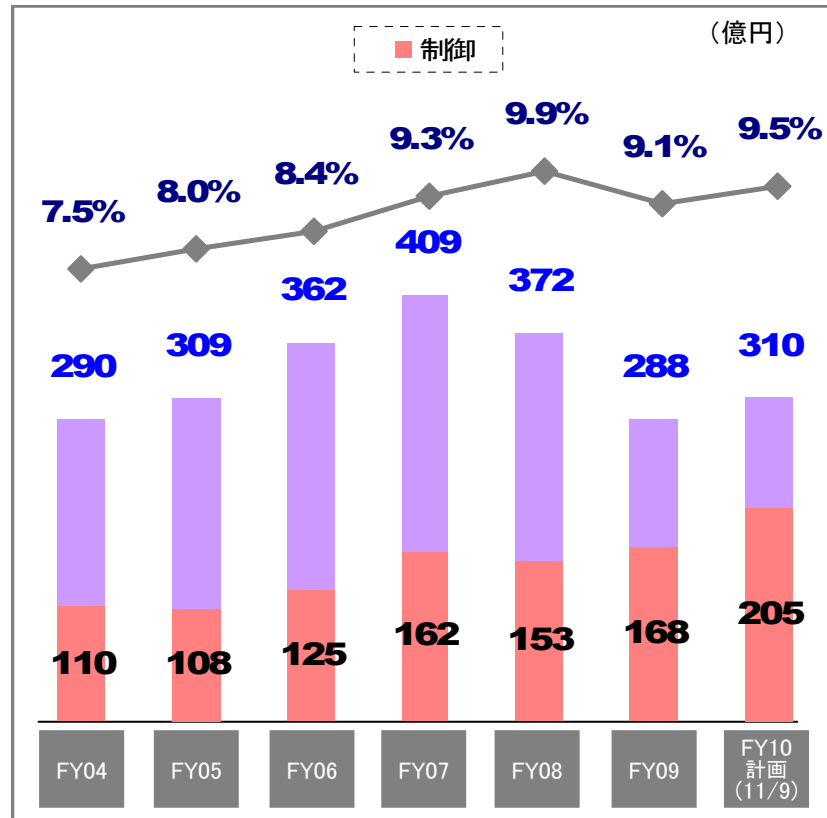
(億円)

	FY09	FY10 1Q-3Q	FY10 通期計画
営業利益	26	48	110
営業外収益	31	22	▲30
営業外費用	55	52	
経常利益	2	18	80
特別利益	10	4	▲55
特別損失	119	35	
税引前利益	▲107	▲13	25
法人税等	41	35	50
当期/四半期純利益	▲148	▲48	▲25

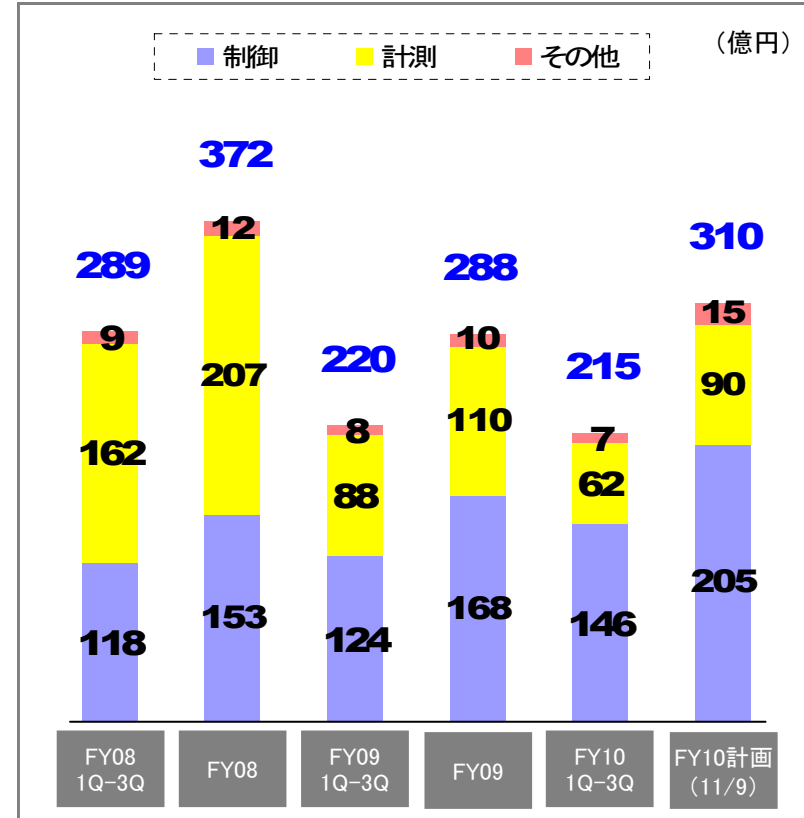
◆1Hに特別損失に計上した投資有価証券評価損26億円については株価の回復により戻入益を計上したが、期末時点の株価及び拡大セカンドライフ支援制度に伴う費用などの不確定要素があることから、営業外損益・特別損益については11月9日発表の計画を変更せず

研究開発費 推移

研究開発費推移



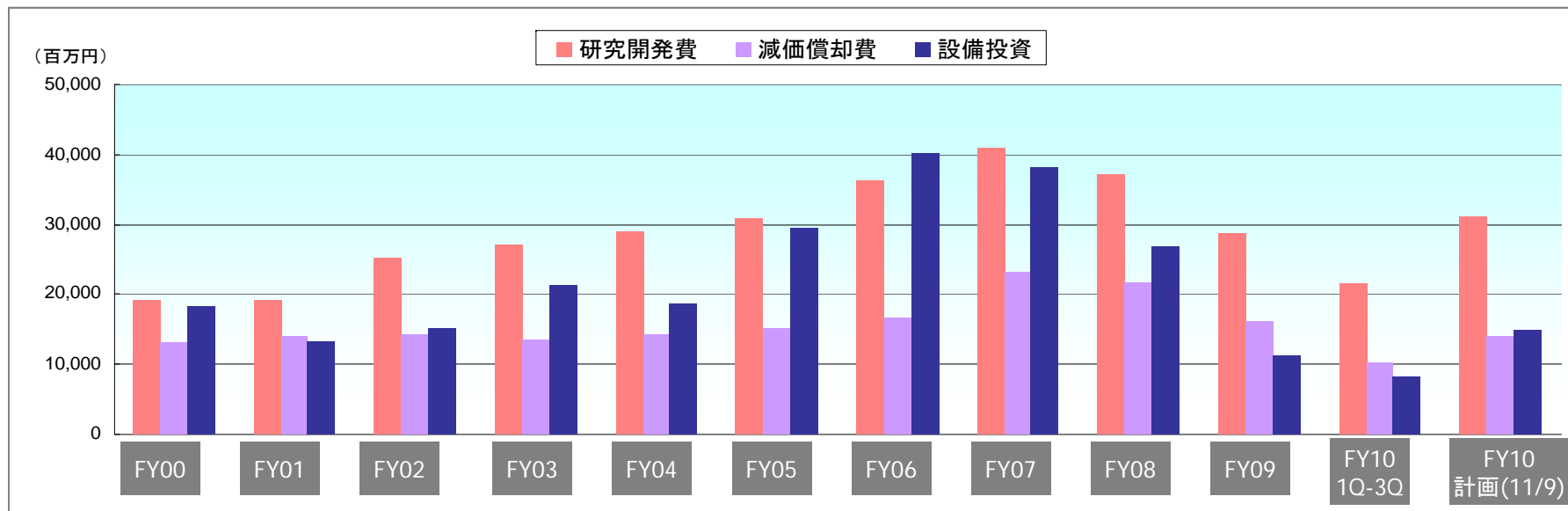
セグメント別研究開発費



◆研究開発費については、11月9日発表の計画を変更せず



研究開発費・減価償却費・設備投資の推移



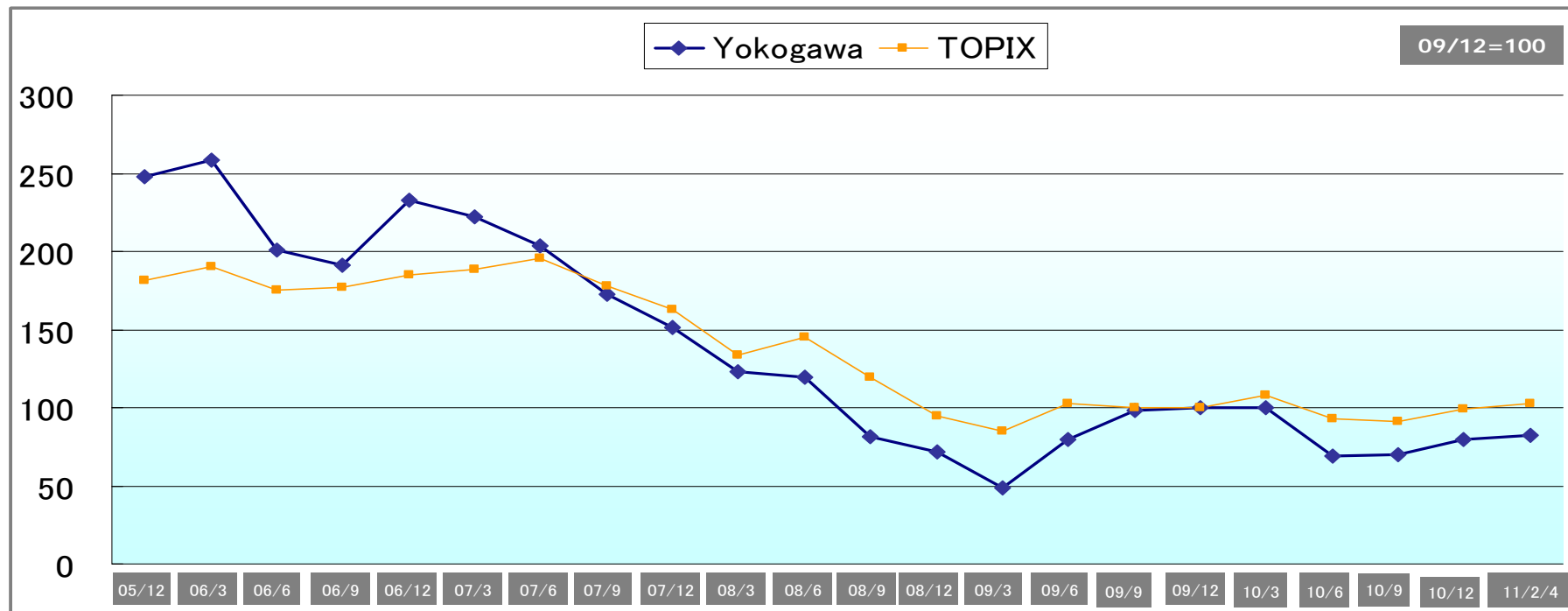
(百万円)

	FY00	FY01	FY02	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10 1Q-3Q	FY10 計画 (11/9)
研究開発費 (対売上比)	19,181 5.4%	19,236 6.2%	25,233 7.7%	26,991 7.3%	28,998 7.5%	30,917 8.0%	36,223 8.4%	40,875 9.3%	37,229 9.9%	28,786 9.1%	21,503 9.4%	31,000 9.5%
減価償却費 (対売上比)	13,190 3.7%	13,964 4.5%	14,298 4.3%	13,455 3.6%	14,331 3.7%	15,124 3.9%	16,483 3.8%	23,129 5.3%	21,615 5.7%	16,033 5.1%	10,187 4.5%	14,000 4.3%
設備投資 (対売上比)	18,173 5.2%	13,347 4.3%	15,264 4.6%	21,355 5.7%	18,652 4.8%	29,540 7.6%	40,284 9.3%	37,990 8.7%	26,813 7.1%	11,125 3.5%	8,107 3.5%	15,000 4.6%

◆研究開発費、減価償却費、設備投資については、11月9日発表の計画を変更せず



株価の状況



	05/12	06/3	06/6	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/2/4
Yokogawa	2,010	2,095	1,631	1,552	1,887	1,806	1,654	1,398	1,228	998	971	659	582	394	650	795	812	814	557	568	646	669
TOPIX	1,650	1,728	1,587	1,611	1,681	1,714	1,775	1,617	1,476	1,213	1,320	1,087	859	774	930	910	908	979	841	830	899	935

	05/12	06/3	06/6	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/2/4
Yokogawa	248	258	201	191	232	222	204	172	151	123	120	81	72	49	80	98	100	100	69	70	80	82
TOPIX	182	190	175	177	185	189	195	178	163	134	145	120	95	85	102	100	100	108	93	91	99	103

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。